

## 事業概要書

事業名	令和元年台風 19 号と 10 月 25 日の大雨における支援活動事業				
開始日	2019 年 10 月 13 日	終了日	2019 年 12 月 27 日	日数	76 日間
団体名 (カウンターパート)	特定非営利活動法人 相馬救援隊				
担当者名	相馬、村井、中澤	スタッフ人数	常勤 6 名、非常勤 3 名		

事業費総額 (税込)	300,000 円
CF 事業枠	300,000 円
その他資金	円

事業目的	台風 19 号及び 10 月 25 日の大雨によって浸水被害を受けた馬と人の支援
事業全体の概要	<p>○相馬救援隊とは</p> <p>東日本大震災の直後に支援・救助活動のために結成されたグループの主要メンバーによって設立された。現在の主な活動拠点は福島県南相馬市だが、旧相馬中村藩領を含んだ福島県相馬双葉地方（2 市 7 町 3 村）全域を主要な活動対象エリアとしている。</p> <p>発災からしばらくの期間は被災した人々への生活支援や動物主に馬の救助・保護、行政や他の支援団体・個人との連絡・調整を行う。その後、復興に向かう地域の課題を継続的にヒアリングし、経済や暮らしの再生、長年にわたり受け継いできた歴史・文化の継承、あるいはコミュニティの存続に貢献する施策の設計へと活動の主軸が移された。</p> <p>2018 年からは相馬双葉地方の歴史・文化的シンボルである「馬」をテーマとした馬事文化振興事業、地域活性化事業等に取り組んでいる。</p> <p>○台風 19 号及び 10 月 25 日の大雨における被災状況</p> <p>浜通りを中心に断水が相次ぎ、相馬地方広域水道企業団に真野ダムからの水を通す導水管が破損したことで、相馬市と新地町、南相馬市鹿島区でも断水が発生。最大 2 万 3000 世帯に影響が出た。</p> <p>○取り組むべき課題</p> <p>・発生から 1 週間程は相双地域全体で飲料水の確保が難しくなった。その後、相馬市内全域と南相馬市鹿島区で続いていた断水が 1 週間～10 日間ほどで解消されたが、相馬市の山あいにある山上地区だけは、水道復旧の見通しがたたず長期戦が予想された。山上地区は住民たちが組合を作って浄水場を管理し、水道の水を供給していた。この台風の影響で宇田川の支流があふれて水道管が破損したほか、土砂が流れ込んで使えなくなった浄水場を修理しようにも、施設につながる道が通れなくなったため、断水が解消する見通しが立たなかった。</p>

	<p>・相馬双葉地方には馬が家族の一員として暮らす家庭が多く、住宅の浸水被害とともに、厩舎や馬場の浸水被害も発生した。飼料や敷料が水に浸かり、馬の命を守るための安全な環境を整える必要があった。</p> <p>○パートナー協働プログラム対象事業</p> <p>①飲料水の運搬・提供 全国の方へ SNS で物資提供のお願いを呼びかけ、物資受付窓口を設立。集まった飲料水を、行政・社会福祉協議会・他団体や個人と連絡を取り合い、現場のニーズを確認しながら必要な場所へ提供。相馬市山上地区へは、区長さんへ提供し配布。</p> <p>②被災した馬に対しての支援 相馬市の宇田川の決壊により浸水被害のあった馬たちに対し、飼料・敷料の提供、馬のコンディション確認等の実施。獣医ヘリファー。</p> <p>③給水袋の配布 他団体とも連携し、給水袋を相馬市へ配布。相馬市民生委員児童委員協議会と連携し、高齢者世帯等見守りが必要な世帯へ飲料水を入れた給水袋を直接お届け。</p>
事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
①飲料水の運搬・提供	相馬市役所、南相馬市鹿島区役所・社会福祉協議会・相馬市山上地区 (約 56,000 人)
②被災した馬に対しての支援	相馬市 5 頭
③給水袋の配布	相馬市民 (約 37,600 人)